

志願書記入上の注意

志願書の記入に当たっては、志願書下欄にある注意事項のほか、以下のことにも注意してください。

1 志願する教科、志願する選択問題

- 中学校、高等学校、特別支援学校 中学部・高等部を志願する者は、志願する教科を記入する。
- 高等学校、特別支援学校 高等部で次の教科を志願する者は、志願する選択問題を1つ記入する。
 - ・ 地理歴史・公民・理科・農業・工業・水産…実施要項10ページにある選択問題から志願する科目等を記入
 - ・ 商業 ……………実施要項10ページにある選択問題から志願する分野を記入

2 教科試験における加点

- 英語の加点の資格がある場合は、○をつける。(実施要項5(2)ア又はイ)
- 情報の加点の資格がある場合は、○をつける。(実施要項5(3))
- 複教免許状の資格がある場合は、○をつける。また、特別支援学校教諭 小学部志願者で幼稚園免許状の資格がある場合も、○をつける。(実施要項5(4)ア、イ又はウ)
- 司書教諭資格取得に係る加点の資格がある場合は、○をつける。(実施要項5(5))

3 併願・試験の免除希望等

- 中学校国語、数学、英語の志願者(特別選考Ⅰ、大学推薦特別選考及び大学3年生等特別選考による受験者を除く。)で、高等学校教諭普通免許状を所有(取得見込みを含む)し、高等学校を第二志望とする者は○をつける。
または、高等学校国語、数学、英語の志願者(特別選考Ⅰ、大学推薦特別選考及び大学3年生等特別選考による受験者を除く。)で、中学校教諭普通免許状を所有(取得見込みを含む)し、中学校を第二志望とする者は○をつける。
- 中学校の志願者(特別選考Ⅰ、大学推薦特別選考及び大学3年生等特別選考による受験者を除く。)で、小学校教諭普通免許状を所有(取得見込みを含む)し、小学校を第二志望とする者は○をつける。
- 「地域採用枠」を希望する場合は、「奥会津採用枠」又は「相双採用枠」のどちらか1つの地域採用枠のみに○をつける。
- 小学校の志願者において「特別支援学級枠」を希望する場合は、○をつける。
- 一次試験免除を希望する者は、昨年度の受験番号を記入する。
なお、昨年度の受験番号が不明となってしまった場合は、出願前に担当者に問い合わせ、必要な手続きをとること。

4 年齢

令和7年4月1日現在とする。

5 連絡先

連絡先は確実に連絡がとれるところ(本人宛の郵便物が届き、電話でも連絡がつくところ)を記入する。

6 学歴

中途退学の場合は、卒業年月日の欄に日付を記入し、学校名の欄に「○○学校中退」と記入する。

7 免許状

- 最上段には、志願する校種等、教科の免許状を記入する。
- 同一校種、同一教科の免許状を2種類以上取得している場合は、最上級の免許状のみ記入する。ただし、上級免許状を取得見込の場合は、両方記入すること。

8 専攻教科科目

- 小学校志願者は、大学等で専攻した教科を記入する。(国語、算数、体育 等)
- その他の校種等の志願者は、大学等での専攻教科・科目・分野等を記入する。
(例) 地歴 → 西洋史、現代史、地理 等
数学 → 代数学、解析学、確率論 等
農業 → 園芸、畜産、土木 等

9 卒業論文又は著書

簡潔に記入する。卒業論文が課されていない場合は、「なし」と記入する。

10 在学中の部活動等

所属した部・委員会名等を記入する。特にない場合は「なし」と記入する。

11 特技・趣味・取得資格等

主なものを記入する。

12 障がいによる合理的配慮の申請

有無に○をつける。なお、有に○をつけた場合、障がいのある志願者への合理的配慮の提供に関する申請書(所定用紙⑬)を提出する。

13 青年海外協力隊・NPO等でのボランティア経験

活動歴があれば、年度、場所、活動内容を簡潔に記入する。特にない場合は「なし」と記入する。

14 令和6年度中に臨時的任用職員としての採用

希望の有無に○をつける。なお、現在常勤講師として任用されている場合は「無」とすること。